

短大特任教員教育研究業績書

平成30年5月1日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
今野 佳代	このの かよ	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師(助教)	男・女
担当科目名				
造形表現Ⅰ・Ⅱ				
学歴				
和暦(西暦)年 月	事項			学位
昭和60(1985)年 4月	宮城教育大学教育学部 中学校教員養成課程 美術専攻 入学			
平成1(1989)年 3月	同大学 同学部 同課程 卒業			教育学士
平成5(1993)年 4月	宮城教育大学教育学研究科教科教育専攻美術教育専修 入学			
平成8(1996)年 3月	同大学 同科 同専攻 同専修 修了			教育学修士
教育歴・職歴				
名称	期間	教育内容又は業務内容		
宮城県登米郡登米町立登米中学校	平成1年4月 ～平成5年3月	教諭(美術)		
仙台市大竹児童館	平成7年6月 ～平成11年3月	児童厚生員		
仙台市愛子児童館	平成11年4月 ～平成12年3月	児童厚生員		
近畿大学豊岡短期大学 通信教育部	平成8年4月 ～平成27年5月	非常勤講師(図画工作Ⅰ・こどもと造形ⅠⅡ担当)		
近大姫路大学教育学部 通信教育課程	平成27年6月 ～平成28年3月	非常勤講師(こどもと造形ⅠⅡ担当)		
仙台幼児保育専門学校	平成12年4月 ～平成23年3月	教員(学事課 実習・就職指導 広報担当)		
東二番丁幼稚園	平成23年4月 ～平成26年3月	管理業務担当		
仙台こども専門学校	平成26年4月 ～平成28年3月	専任教員(図画工作・造形表現ⅠⅡ・表現指導法 担当)		
東京福祉大学短期大学部 通信教育課程	平成28年4月 ～現在	非常勤講師(図画工作ⅠⅡ担当)		
小田原短期大学	平成28年4月 ～現在	保育学科通信教育課程(助教)(造形表現ⅠⅡ 実習指導担当)		
所属学会等				
名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)		
日本美術教育学会	平成18年～現在	平成19年東京大会 24年名古屋大会 28年滋賀大会 29年大阪大会		
日本保育者養成教育学会	平成29年度～現在	平成29年3月第1回研究大会 30年3月第2回研究大会		
社会活動等				
名称	活動期間	活動内容		
仙台ひと・まち交流財団防災マスコットキャラクターデザインに採用	平成26年10月	当財団主催の防災教育の啓発キャラクターのデザインを行い、原画やプランが採用され、着ぐるみやポスター・缶バッジ他 教育活動のグッズとして活用されることになった。		
市民センター合同イベント「楽しく学ぶ みんなのぼう災・げん災」	平成27年3月	主催 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 後援 第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会		

産学連携事業「こどもんくらぶ」講師	平成29年8月5日	仙台こども専門学校主催産学連携事業「こどもんくらぶ」の活動の一環として、地域の親子を対象に小麦粉粘土を使って遊ぶ「こねこねまつり」の講師として親子活動の支援を行った。
-------------------	-----------	---

担当教科目に関する資格・免許等

名称	取得年月	取得機関
中学校教諭一級・高等学校二級免許状	平成1年3月	宮城県教育委員会
中学校教諭専修・高等学校教諭専修免許状	平成8年3月	宮城県教育委員会
美術検定2級	平成22年12月	美術検定実行委員会

研究実績に関する事項

代表的な著書、論文等の名称	単著 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) ・保育者養成における造形表現分野から探る「言葉」と「思考」の研究～「気づきNOTE」の記録分析を通して	単著	平成30年3月	小田原短期大学研究紀要第48号	日々の授業における学習の振り返りの記録内容から、思考の表出として言葉化を促すことの重要性に着目した。具体的には「気づき」を促した造形表現の授業を通して、内省的思考を図り、ものの捉え方や思考の傾向を探ることで、これからの保育者養成の一助となる研究を目指す。
(その他) みることから学ぶ造形教育の実践		平成9年～25年度	仙台幼児保育専門学校	講義の中で、「もの」を「みる」ことから始まる造形心理や造形理論を交えた教育方法を研究実践した。保育系の学生に対し、幼児の造形表現と人の文化の牽連性の理解を指導した。
幼稚園における造形活動実践支援		平成23～25年度	東二番丁幼稚園	幼稚園に勤務しながら、主に幼児の造形活動の支援を通して子ども達の発達や個性に寄り添った実践を学ぶとともに担任教諭にアドバイスを行った。
幼児の粘土を使った活動支援		平成24年9月	東二番丁幼稚園	園外活動で宮城県美術館に行くにあたり、引率補助を行い、また創作室で美術館普及部指導員の元、実際に土粘土の制作から造形活動全般に渡って子ども達の支援を行った。
仙台七夕制作展示指導		平成25年7月	仙台幼児保育専門学校	仙台駅前商業施設「EDEN The Landscape valley」にて開催。 仙台幼児保育専門学校の学生（一年生全員）に対し、伝統行事である「仙台七夕」の歴史や行事の意味、飾りの制作指導を行い、共同制作作品が会場に展示された。
七夕制作指導及び保育園への寄贈と交流活動 自己紹介ブック製作と実践及び発表の指導		平成28・29年 平成28.29年7月	仙台こども専門学校 保育科 仙台こども専門学校 こども総合学科・保育科	学生に対し、仙台七夕の伝統的な七飾りと共同制作の指導を行い、作品を仙台こども保育園へ寄贈した。また園児と学生との交流活動の指導支援をした。 「実習・就職対策」の授業と連携し、実習事前指導の一環として、自己紹介ブックの製作とそれを使って子どもの前での演じ方の指導を行った

<p>パワーポイントを活用した講義の導入教材の作成と実践</p> <p>授業内容の気づきの記録(気づきノート)の実践</p> <p>素材から考える教材研究グループワークと発表会</p> <p>テーマから考える教材研究グループワークと発表会</p>		<p>平成29年5月～</p> <p>平成29年4月～</p> <p>平成28年11月</p> <p>平成29年11月</p>	<p>仙台子ども専門学校 子ども総合学科・保育科)</p> <p>仙台子ども専門学校 子ども総合学科・保育科</p> <p>仙台子ども専門学校 子ども総合学科・保育科</p> <p>仙台子ども専門学校 子ども総合学科・保育科</p>	<p>いかに講義テーマと内容を視覚的に明確に学生に伝えられか、日々模索しつつパワーポイントを制作し、授業の導入に生かしている。制作過程や参考資料の提示の他、幼児の絵画発達の道筋について独自の資料作品の部分拡大により、特徴をつかませることに役立てた。</p> <p>学生が授業を通して何に気づき、言葉にするのかを記録させること等により、思考と学びの可視化を目指す活動を行った。他にも、多くの場面でレポートを記述する機会を設けた。</p> <p>身近な生活廃材からグループ毎に材料を選択させ、グループでテーマと内容を設定し、子どもに与えるおもちゃ研究の共同制作の指導と支援を行った。また発表資料にまとめさせ、最終回には、各グループ毎、制作物の発表会を行った。</p> <p>五感からテーマを選び、諸感覚を使って遊ぶおもちゃをグループ毎に考案させ、実際に共同で制作し、その制作過程や結果を発表し共有する活動を行った。</p>
<p>その他 (表彰等)</p>				